



学校だより 第10号

チャレンジ&ありがとう

成長

教頭 笹島久美子

「はい、はい、はい。」「がんばれー!」「もう一回、もう一回!」

子供たちの声が体育館やワークスペースから聞こえてきます。体育委員会主催の「みんなでジャンプロープ大会」に向けてクラスの新記録をつくろうと、体育の時間や休み時間に担任と共に声をかけ合い一生懸命に大縄跳びに挑む姿がうれしいです。

学校は自分の好きなこと、得意なことだけをする場所ではありません。縄跳びが苦手な子供もいます。でも、目標に向かって、自分たちで励まし合い、認め合いながら心一つにしてチャレンジしている姿に子供たちの成長を感じました。

一年間を振り返ると、子供たちは心身ともに大きく成長しました。しかし、一人一人の持ち味や好きなこと、得意な分野など、伸びゆくスタイルは様々で、これから続く自分探しや磨き方もきっと個性あふれるものとなるでしょう。

子供たちを見ていると、人間がもつ力は一つのスケールでは到底はかれないほど多様で、奥深く、どの子も自分の個性を生かして前に進みたいと考えています。

植物は地上に葉を繁らせて日光を浴び、水と空気中の二酸化炭素からエネルギーを生み出します。でも、よく観察すると体のつくりや暮らしぶりは様々です。茎が長い直立型の植物は上へ上へと伸びて葉を繁らせ、日光の獲得競争に挑みます。背の低いタンポポたちの勝ち目はなさそうに見えますが、そんなことは決してありません。葉の長い植物では、人に踏まれて折れてしまうような場所でも暮らせる、たやすくは折れない体を地上に出して葉を放射線状に広げます。道端に咲く小さな花を見るたびに、あらためて生存をかけた草木の逞しさに気付きます。ヒマワリにはタンポポの真似はできません。タンポポもヒマワリの真似はできません。それぞれが自分の力で、スタイルで、一生懸命生きています。

「昨日の自分をこえる今日。今日の自分をこえる明日!」木津っ子たちには、これからも自分を磨き、我が道を自分のやり方で切り拓いて、自信あふれる豊かな人生を歩み続けてほしいと願っています。

いま6年生は、卒業プロジェクトに取り組んでいます。

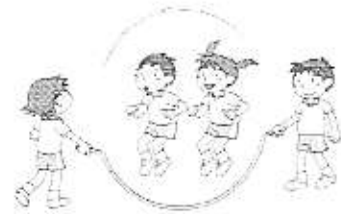
最後の授業参観に行う「1・2年間ありがとう集会」、「交通少年団入退団式」、「児童会引き継ぎ式」、「卒業おめでとう集会」、「同窓会入会式」、「謝恩式」等のチームプロジェクトが続きます。

5年生は、6年生の卒業を祝う「笑顔をたくさんありがとう 卒業おめでとう集会」の計画、準備に取り組み、最高学年進級への自覚と決意を高めていきます。

よき伝統と校風のバトンを託す者、託される者、両者が新たな一歩をしっかりと踏み出しています。



みんなでジャンプロープ大会



2月3日(木)に、体育委員会主催の「みんなでジャンプロープ大会」が色団対抗戦で行われました。

どの学年も、「練習よりも多く跳べるようになりたい」「去年の同じ学年の記録を破りたい」と日当てをもち、休み時間や朝運動の時間、体育の時間等に意欲的に練習してきました。

本番では、「1、2、3」と跳ぶ数を数える掛け声や、応援、歓声などが会場中に響き渡り、大いに盛り上がりました。

子供たち自身が集団で運動することの楽しさや仲間と団結することのよさなどを実感できる実のある行事になりました。



高学年スキー学習inタカンボ



1月29日(金)に、5・6年生がタカンボスキー場へスキー学習に行ってきました。

残念ながら終日雨模様となり、天候には恵まれませんでしたが、子供たちは技術レベルごとの班に分かれて、講師の先生方の指導の下、元気にスキーの練習を行いました。

リフトは初めて乗る子もいましたが、スキー場のリフト係の方が乗り場と降り場でしっかりとサポートしてくださっていたので、安心して乗降することができました。

また、上級クラスの子供たちは、どんどんリフトに乗って高いところに行き、ゲレンデを爽快に滑りながら、さらなるレベルアップに向けて練習を重ねました。

お昼のカレーライスを食べりと平らげて、午後の練習にも意欲的に取り組んでいました。できることなら、今シーズン、天気の良い日に、もう一度スキーの楽しさを味わってほしいと思います。

